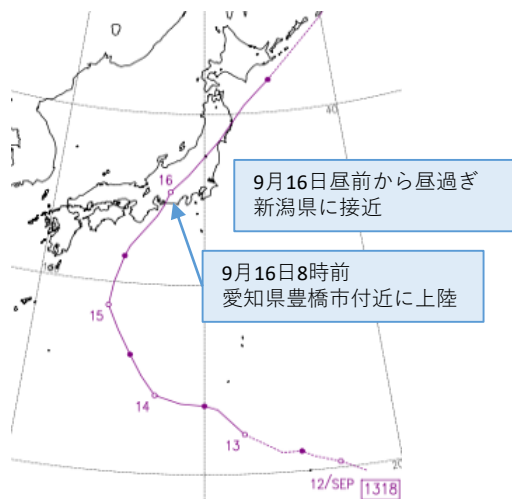


台風が上陸後も勢力を維持した状態で北上し、新潟県では大雨、暴風による被害が発生

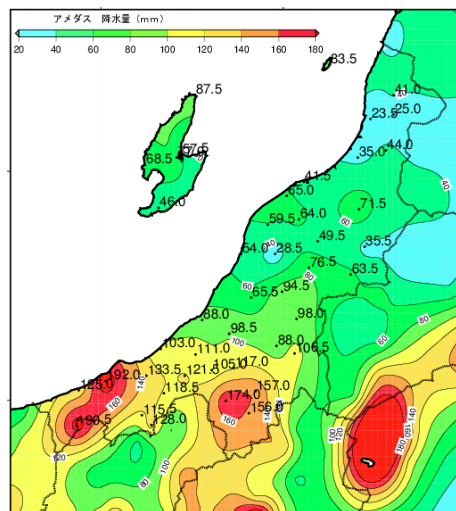
【概要】

平成25（2013）年9月13日3時に小笠原の近海で発生した台風第18号は、16日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸した（中心気圧 965hPa、最大風速 30メートル）。台風は上陸後も勢力を維持したまま北上し、暴風域を伴って関東甲信地方を北東に進んだ後、東北地方南部を経て16日18時には三陸沖に達した。新潟県には16日昼前から昼過ぎにかけて接近した。新潟県では15日夜遅くから雨が降り始め、ピーク時には糸魚川市能生で16日7時36分までの1時間に60ミリの非常に激しい雨を観測し、15日6時から16日18時までの総降水量は192.5ミリに達するなど、上越や中越の山沿いを中心に大雨となった。また、16日は県内の海上や海岸を中心に暴風となり、佐渡市弾崎では最大風速23.8メートル（北北西）、最大瞬間風速28.7メートル（北）を観測した。

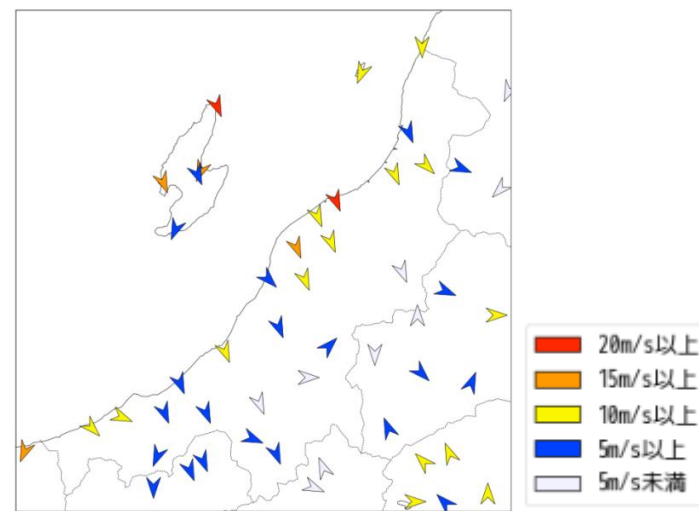
この台風により、県全体では軽傷者2名、一部損壊、床上浸水などの住家被害101棟などの被害が出た。
（気象庁災害時気象速報、新潟県地域防災計画より引用）



台風経路図（平成25年台風第18号）



積算降水量分布図
（平成25年9月16日1時～9月16日24時）



最大風速分布図
（平成25年9月16日1時～9月16日24時）